

硯海

No.87

平成28年4月発行



INDEX

会長挨拶・臨時総会	2
例会レポート	3
行事活動レポート	4
委員会活動レポート	5
YEG行事レポート	6
28年度 会長挨拶・同好会レポート・ 社会福祉活動・編集後記	7
YEG創立35周年記念式典・大懇親会 済州商工会議所姉妹締結15周年記念式典・懇親会	8



平成27年度 スローガン

つたえる!



会長挨拶◆1年を振り返って



平成27年度 下関商工会議所青年部
第36代会長 喜志永 良治

「つたえる」のスローガンのもと、118名の頼もしい仲間と走り抜けた1年間は、本当にあっという間に感じられました。私たち下関YEGの活動に対して、深いご理解とご協力を賜りました関係各位の皆様には、会員を代表して心から感謝申し上げます。

今年度は、喜ばしいことに何かとメモリアルで行事の多い当り年でした。生憎の雨模様となりましたが、第30回となる「しものせき海峡まつり」では関門連携の第一歩を踏み出し、同じく実行委員長を務める「ツール・ド・しものせき」は、今回から春のスポーツイベントとして5月開催となりました。また、11月21日には済州商工会議所青年部会との姉妹締結15周年記念式典・懇親会を、翌22日には下関YEG創立35周年記念式典・大懇親会を総勢400名を越える来賓、OB、県青連の皆様方と盛大に祝うことができました。その他、世界スカウトジャンボリーやねりんピック等のスポットイベントも数多く開催され、それらの行事に参加・協力することで、貴重な経験をさせて頂く機会や様々な人とのご縁をつくる場をたくさん頂きました。私たち下関YEGが、このように元気よく伸び伸びと活動できるのも、35年間先輩方が繋いできてくれた“人とのつながり”や“地域とのつながり”のお陰だと思っています。

私たちに数多くの機会とご縁を頂きました全ての皆様に、本誌『硯海』の元気な活動報告と笑顔の写真をもって、お礼のご挨拶に代えさせて頂きます。

平成28年度は田中肅己新会長のもと、会員一丸となってますます元気に活動を展開して参ります。今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

1年間、本当にありがとうございました。

平成27年度12月例会・臨時総会

平成27年12月8日(火)、平成27年度下関商工会議所青年部12月例会・臨時総会、及び忘年会を下関グランドホテルにて開催しました。臨時総会では木下麻子議長のもと第一号議案「平成28年度下関商工会議所青年部会長選出について」で次年度新会長選出が行われ、田中肅己副会長が満場一致の拍手で、平成28年度第37代会長に承認されました。その後の忘年会は、中尾友昭市長をはじめ多数の来賓、OBを交え盛大に行われました。



例会レポート

◆10月例会『しものせき海峡まつり大スタッフ会議』

担当：地域活性化委員会



10月8日(木)、亀山儀式殿にて10月例会『しものせき海峡まつり大スタッフ会議』を開催しました。セレモニーでは、後期新入会員9名の紹介が行われ、喜志永会長より会員バッジが手渡されました。大スタッフ会議では、下関YEGのメイン事業である「しものせき海峡まつり・源平まつり」をよりよくするために、会員に意見を聞き未来に繋いでいくことを目的として企画されました。例会の前半は、現在までの「まつり」の歴史を振り返り、後半は今後の課題と改善案を「源・平」の「紅・白」に分かれた地域活性化委員会の会員が発表を行いました。発表後、各テーマについてアンケートを集計し、それぞれの経験や立場の違いから様々なアイデアを集めることができました。これらからも「しものせき海峡まつり・源平まつり」に関わっていく下関YEGにとって、とても有意義な例会になりました。

◆11月例会『創立35周年記念式典・大懇親会決起大会～35年の軌跡、そして今“つたえる”事～』担当：会員研修委員会 35周年実行委員会



11月9日(月)、春帆楼にて11月例会『創立35周年記念式典・大懇親会決起大会～35年の軌跡、そして今“つたえる”事～』を開催しました。まず会員研修委員会担当で、後期新入会員がスピーチをし、自分自身をアピールしました。大勢の会員が見守る中、新入会員は緊張しつつも、それぞれ個性溢れるスピーチを披露しました。新入会員の人が柄や仕事がよく伝わる素晴らしいスピーチでした。その後、35周年実行委員会の担当例会では、11月22日(日)に開催される「下関商工会議所青年部創立35周年記念式典・大懇親会」の当日の流れ、各委員会における役割の確認など、35周年実行委員会より、詳細な説明を受けました。最後は、例会出席者全員で集合写真を撮り、式典当日に向け機運を高め、一致団結した場となりました。

◆1月例会『新春下関YEG企業博覧会』

担当：会員研修委員会



1月8日(金)、春帆楼にて1月例会『1月例会新春 下関YEG企業博覧会 ～知って、活かして、得てほしいです！～』を開催しました。新入会員は、入会後3分間スピーチをする機会があります。しかし、事業内容に特化して話す会員はあまりいません。今回は、新入会員が自身の事業内容をしっかり発信し、ビジネス交流の礎とすることも目的として例会を行いました。新入会員が、実践コーナーと講演コーナーに分かれ、自社PRや業界の裏知識、聞いて得する情報を発信するための本格的なプレゼンテーションを行いました。実践コーナーでは、試食やサンプルなどもあり、商品などを体感することができました。また講演コーナーでは、モニター画面を使用し、とてもわかりやすい内容でした。下関YEGの会員にとって、自社企業PRのスキルアップの場となりました。

◆2月例会『どっちでshow time!! ～違いの分かるリーダー達へ、現在(いま)こそ問う～』担当：総務委員会



2月8日(月)、総務委員会による2月例会『どっちで show time!! ～違いの分かるリーダー達へ、現在(いま)こそ問う～』を下関グランドホテルにて開催しました。

『違い』を知ることで青年経済人としての教養を高め、これまでに培ってきた知識・経験を更に豊かにすることを趣旨として実施しました。一般教養やマナーなどさまざまなジャンルの中から課題が出され、二者択一のクイズ形式でそれぞれの『違い』について考えました。

設問を重ねるにつれて会場も徐々にヒートアップし、正解と解説が発表される度にどよめきや感嘆のため息がもれるなど、楽しさの中にもしっかりと学びのある素晴らしい例会となりました。

◆3月例会『卒会式』

担当：国際委員会



3月8日(火)、春帆楼にて3月例会「卒会式」を開催しました。オープニングの卒会者入場では、9名の卒会者を大きな拍手で出迎えました。山崎副会長の乾杯で始まり、サプライズゲストの登場や、喜志永会長による卒会者一人一人の特徴を捉えた内容の卒業証書授与で、大いに会場が盛り上がりました。高山室長からの送辞は、ユーモアと感謝の気持ちを織り交ぜた表現で伝え、卒会者から笑いあり涙ありの大変ユニークな送辞となりました。その後、卒会者一人一人から、現役会員へ向けた答辞をいただきました。あらためてYEG活動の良さを感じる感動的な例会となりました。



①東 真里 S62.5.8 生
自家焙煎珈琲専門店 タカダ
コーヒー
②感謝
③27年度後期新入会員と
してYEGに入会し、まだ
数ヶ月しか経っていません
が毎月行われる例会や各委
員会、その他の活動に参加させて頂きその都
度学ぶものが違い、日々勉強になる事が沢山
あります。少しでも皆様のお役に立たせて頂
ける様これからも頑張りますのでご指導ご鞭
撻の程、宜しくお願い致します。



①内田 悠太 S60.9.21 生
弁護士法人ラグーン
②実存は本質に先立つ
(ジャン＝ポール・サルトル)
③私はまだ下関YEGに加入
して日が浅いのですが、
他の会員からそれぞれの業
界に関する知識や考え方を
お聴きすることができ、本
当に良かったと思っています。今後も、会員
の皆様と交流を深めることで、企業の方々が
どのような悩みをお持ちなのか、また、それ
に対して自分が弁護士として何が出来るのか
を考えていきたいと考えています。



①梅田 信長 H5.11.4 生
金山板金工業㈱
②時は金なり
③入ってすぐはYEGでう
まくやっていけるか不安で
したが例会や委員会、懇親
会など積極的に参加してみ
るとみんな優しくて気付け
ば不安はなくなり今では出来る限り参加した
いと思うようになりました。
今後も例会や委員会、イベント等に参加して
45歳まで頑張りたいと思います。

行事活動レポート

* 下関海響マラソン2015

11月1日(日)、「下関海響マラソン2015」が盛大に開催されました。下関YEGもスタッフとして参加しました。今大会は過去最多1万1362人のランナーが出場し、多くのランナーが海峡と歴史の町を駆け抜けました。マラソン(42.195km)には、タレントの波田陽区さん、猫ひろしさん、2kmにはタレントの間寛平さん、元プロ野球選手の宮本和知さんがゲストランナーとして参加されました。



また村岡嗣政山口県知事、中尾友昭下関市長もマラソンにチャレンジされました。今大会は、「記録より、記憶に残る、海響のドラマ」をテーマに掲げ、ランナー目線にたったおもてなしを強化していました。

また村岡嗣政山口県知事、中尾友昭下関市長もマラソンにチャレンジされました。今大会は、「記録より、記憶に残る、海響のドラマ」をテーマに掲げ、ランナー目線にたったおもてなしを強化していました。



* 第33回下関さかな祭

11月23日(月・祝)、水産都市下関の景気浮揚と魚の消費拡大、魚食普及を目的に「第33回下関さかな祭」が開催され、下関YEGから6名の会員がボランティアスタッフとして参加しました。会場では活魚・鮮魚・水産加工品の即売、ふく・あんこう・くじらの三大鍋等々、多彩な催しが実施され大変賑わっていました。



* 花いっぱい計画

12月6日(日)、(一財)下関21世紀協会よりご案内いただき花いっぱい計画に会員14名とその家族で参加しました。

下関花いっぱい計画は、平成12年にまちづくり団体である下関景観協議会が企画し、下関市の中心部である唐戸から竹崎町までの国道9号沿線の住民、企業に呼びかけ、花の植え付けを民間が主体となって毎年実施しているものです。

今回は下関商工会議所前の花壇を中心に2時間にわたり花壇の整備と花の植え付けを行いました。朝早くからの作業で大変でしたが植え付け後の花壇の花を見るととても清々しい気持ちになりました。



平成9年に入会し、あっという間の18年間だったような気がします。この18年間、記憶をたどるといろいろな場面を思い出します。特に諸先輩方ははじめ現役会員の満面の笑顔が浮かんできます。理解や思いやり、年齢差などを気にせずさくばらんに腹を割って話し合える仲間、また優れた下関商工会議所青年部の方々と巡り会えたことを感謝しております。心より皆様のお元気で素晴らしいご活躍を期待しています。長い間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



井田 幸伸

36歳の時に家業を継ぐために下関に戻ってきた、まわりに知り合いがほとんどいなく孤独を感じている状態の時にYEGに誘っていただきました。入会してからは多くの人と知り合うことが出来、たくさん刺激や考え方などの影響を受けて経営者として大きく成長することが出来ました。これからは社業を発展させて少しでも下関に恩返ししていけたらと思います。長いようであっという間の8年間お世話になりました。そして、ありがとうございました。



河崎 剛賢

YEGには不思議な魅力がある。有形無形に受ける恩恵は、きっと会員の皆さんを大いに成長させてくれる。入会以来、学び、呑み、運ばれ、寄稿し、ぶつかり、選ばれ、打ち込み、割り切り…ついに卒会に迎えている。何かを残せた訳では無いけれど、それでも15年半、その時々の置かれた状況に応じて私なりに励んできたつもりである。活動を通じて巡り会えた方々、そして何より会員の皆さんには本当にお世話になった。ありがとう。ありがとう。



来嶋 展昭



①落合 孝政 H3.2.23 生
ビジネスホテル VIP 南国
②人生は何事もなごめには
あまりにも長いが、何事か
をなすにはあまりにも短い。
(中島 敦)
③YEGとはなんだろうと疑問
や不安ばかりでしたが、入
会してみると様々な異業種
の方と交流することで今までは知らなかったことも
学ぶことができ、入会して良かったなと思いま
した。また年上の方ばかりかと思いましたが、若
年層も多く在籍しており、若い方も安心して入会
して頂けると思います。少しでも興味がある方は
是非入会して下さい。



①熊谷 稔 S52.9.6 生
株式会社ひかりプラス
②全ての過去は未来が変え
る
③「地域を理解し、地域に根
差し、この地で花を咲かせ
る」その為に必要なことを
考え、出した答えが YEG
への入会でした。入会から早半年が経ち、不
慣れながらも様々な経験をさせて頂き、何よ
りも、かけがえのない大切な方々との出会い
がありました。未来を輝かせるためにより一
層の努力をして参ります。



①田中 貴之 S61.8.5 生
東京海上日動火災保険㈱
②挑戦
③東京海上日動の田中貴之
と申します。仕事柄、数年
毎に転勤があり、昨年 4 月
に東京から参りました。下
関 YEG の活動を通じて地
域社会の発展に貢献することは、自分自身の
成長にも繋がると考えておりますので、様々
なことに「挑戦」していきたいと思ひます。
今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

委員会活動レポート

第3回親睦事業「家族・会員と福岡を楽しもう!!」

11月8日(日)、会員交
流委員会による第3回
親睦事業「家族・会員
と福岡を楽しもう!!」
を行いました。今回は
現役会員と家族合わせ
て19名が参加し、バ
スでキンビール福岡
工場や海の中道海浜公
園へ行きました。



公開委員会「知っておこう 意外と危険な下関」

9月15日(火)、下関商工会館にて、国際委員会による公開委
員会「知っておこう 意外と危険な下関」を開催しました。
講師には下関市防災安全課の方
2名をお迎えしました。
講演では、災害の映像などをみ
せていただき、災害の恐ろしさ
を感じました。また、下関市が
行っている予防措置、危機管理
を具体的に学ぶことができました。



第4回親睦事業「体を動かし運動不足解消」

2月15日(月)、名陵中学校体育館
にて第4回親睦事業「体を動かし
運動不足解消」を行い19名の会
員が参加しました。日頃より体を
動かす機会が少ない会員がドッ
ジボールとバスケットボールを楽
しみ大いに親睦を深めました。



公開委員会「地元企業から学ぶ～人材を確保し業績を伸ばす取り組み」

2月3日(水)、下関商工会館にて、経営委員会による公開委員
会「地元企業から学ぶ～人材を確保し業績を伸ばす取り組み」
を開催しました。講師には株式会社ライフネット代表取締役
社長の金田茂氏を迎え、講演していただきました。過去に大
手企業での勤務経験を持つ金田氏が、現在社長という立場で
どのように人材確保に取り組んでいるか、経営者としての生
の声を聞くことができました。
会社は同じ目的を持った人の集まりであり、その中で経営者
と従業員はパートナーであるという金田氏は、従業員とのコ
ミュニケーションを大切にしています。現場で働く人の判断
を尊重し、極力本人に任せる。そして各担当者や責任者の仕
事に口を出さないそうです。また従業員が3行程度の文章を
書き会社に役立つ提案をする「三行提報」という仕組みを活
用しています。どんな些細なことでもその中に貴重な情報や
改善のヒントが見つかるためです。
会社の規定面では休日の増加や退職
金制度の導入、給与の改定などを
行い、従業員の待遇を充実させてい
ます。人材を採用する場合は、会社側
がその人の希望や都合を尊重するの
が新しい雇用形態であるという金田
氏。参加者も皆そのお話に聞き入り、
共感しました。



公開委員会「必聴!事業大解剖!あの事業はこうやって作られた!」

3月2日(水)、下関商工会館にて35周年実行委員会による公開
委員会「必聴!事業大解剖!あの事業はこうやって作られた!」
が行われYEG会員36名が参加しました。「創立35周年記
念式典・大懇親会」の
VTRによる振り返りと
反省会や過去の事業成功
者による体験談などの話
を聞き、参加した会員達
は先人たちから多くのヒ
ントをもらうことがで
きました。



平成25年度の入会から3年間という短い時間では
すが、とても有意義で楽しい時間を過ごさせていた
だきました。下関YEGの組織力、行動力、熱い思い
に接し、今までの自分がしてこなかったようなこと
を経験し、とてもいい勉強をさせていただきました。
様々な活動を通してたくさんの影響を受けて、人間
的に幅が広がったように思います。そして何より感
謝しているのはやはり多くの方との出会いです。こ
の下関に信頼できる仲間
ができたことはこれか
らの人生において大きな財
産になりました。本当に
どうもありがとうございました。

木下 麻子



YEGに平成19年に入会して10年目を迎えました。
平成19年後期入会でしたので、実働9年何をするわけ
でもなく過ぎてしまいました。様々な事情により卒業
せずに退会してしまった仲間たちのことを思うと申し
訳ない気持ちになると共に無事卒業を迎えられることを感謝
します。YEGのことを今となっては振り返れば、一番
最初に参加した源平祭りで中宵を肴用いて武者行列を行
った後、熱中症になって点滴をつ
つたことが思い出されます。船の飾り
つけや関門大橋の下を漁船で通過し
たり、日常では体験できない思い出
を多くすることができました。仲間
にも恵まれ幸せなYEG生活だった
と感謝の気持ちでいっぱいです。皆
さんありがとうございました。

久保 聖一



平成17年に東京から下関に戻ってきて、地縁性
が乏しかった私にこの地で生きる土台と価値を与
えていただいたご縁に心より感謝いたします。
また、副委員長、委員長、監事と理事を3回経験
させていただいた当時の会長である利田さん、吉
岡さん、吉永さんにも御礼を申し上げます。
正直、下関YEGなくして今の私は無かったと
言っても過言ではありません。
目的意識を持って交流に
勤しむ場として青年部は
最高の学舎です。
有難うございました!

鴻池 和彦





①平野 明里 H2.5.9 生
株式会社三和印刷社
②なせば成る・忍耐の得
③私がYEGに入会したきっかけは、山崎副会長からの「入りませんか?」でした。「考えておきます(笑)」と返事をし、そんなやり取りを繰り返していたある日「アラドモのケーキ」をご馳走になり、ケーキを食べ終えた私は「入会します」と一言。食べ物につられたと言っても過言ではないですが、これからもYEG活動頑張ります!



①船橋 優之 S55.10.15 生
大同生命保険㈱下関営業所
②一期一会
③YEG活動を通して、下関の発展のため尽力して参りたいと思います。よろしくお願いします。



①松本 由洋 S55.5.10 生
野村證券㈱下関支店
②世のため人のために
③下関市は、産業の減少、人口の減少、地域間の連携など様々な課題を抱えておりますが、変革には青年の活力が不可欠だと思っております。まだまだ未熟者ではございますが、本業の経済の知識なども活かし、郷土のために全力を尽くす所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

YEG行事レポート

第33回中国ブロック大会鳥取大会

10月24日(土)、「日本商工会議所青年部 第33回中国ブロック大会鳥取大会」が、鳥取県鳥取市のとりぎん文化会館で行われました。下関YEGから喜志永会長をはじめ7名の会員が参加しました。

特別分科会では鳥取のプロサッカーチーム『ガイナーレ鳥取』のゼネラルマネージャー岡野雅行氏による特別講演があり熱気につつまれていました。その後の大懇親会では他単会YEGの仲間と大いに懇親を深めることが出来ました。



第33回全国会長研修会

～夢をつなぎ 未来を紡ぐ まえばし会議

11月12日(木)から14日(土)まで群馬県前橋市で開催された「第33回全国会長研修会～夢をつなぎ 未来を紡ぐ まえばし会議」へ喜志永会長と田中副会長が参加しました。全国から集まった会長、次年度会長予定者、熱意ある会員を対象に数々の分科会が行われこれからの青年部活動や各課題について熱いディスカッションが行われました。



山口県青連

第4回会長会議・第3回担当者会議

3月5日(土)、「山口県青連 第4回会長会議・第3回担当者会議」が、アパホテル山口防府にて行われました。下関YEGより喜志永会長をはじめ9名の会員が参加しました。会長会議では平成27年度事業報告と平成28年度以降の行事計画が議題になりました。担当者会議では、「YEGるるぶを作ろう!」と題して各単会が作成した地元の旅行プランを発表し、山口県の魅力を再確認しました。その後の懇親会では大いに親睦を深めました。



日本商工会議所青年部

第35回全国大会 吉備の国 おかやま大会

2月20日(土)、岡山県岡山市で開催された『日本商工会議所青年部第35回全国大会 吉備の国 おかやま大会』に下関YEGから喜志永会長をはじめ12名の会員が参加しました。大会キャッチフレーズ「今を超えろ! 咲き誇れ! We are the YEG」の下、全国から高き志を持った多くのYEG会員が集まりました。記念講演では堀江貴文氏が「失敗から学ぶ、ホリエモン流経営学～マイナスからイチへ始めるチャレンジ精神～」と題しチャレンジすることへの重要性・必要性を講演されました。大会終盤では平成27年度に卒会される全国の会員を参加者全員で送り出すイベントもあり会場内では思いがあふれ涙する会員もあり、とても素敵な全国大会でした。



29歳の時に長崎から下関に戻ってきた際、中学高校の頃の友人はいましたが、社会人としての知り合いが全くいない中、父に勧められYEGに入会しては16年。長くもありあつという間でもあった16年でした。自分の会社だけでは到底関わり合いがない方々とお付き合いをさせていただき、色々な所へ行き様々な事を体験させていただきました。もしもYEGに入会していなかったら、これだけ有意義な時間を過ごす事が出来ていたのだろうか、と思います。本当にありがとうございました。

武田 大作



平成26年に入会、あつという間の2年間でした。短い期間でしたが非常に密度の濃い活動ができたと思っております。しかし、やり残した事が沢山あります。もっともっと皆さんと親睦を深めたかったです。あと1年いや2年いや5年ぐらいいたかったですね。皆さんの存在は私にとってかけがえのない一生の宝物です。どこかで私を見かけたら声をかけて下さい。普段見せない最高の笑顔をお見せいたしましょう。短い間でしたが最高に楽しい時間を共に過ごしていただき、ありがとうございました。

三浦 尚登



平成19年に入会し8年間という人生の貴重な時間を下関商工会議所青年部に属せたということに感謝しています。全くの素人だった主婦が「想い」だけで始めた洋裁ビジネスは、廃れていく業種でした。今では故郷下関を飛び出し、博多という未知の場所へ挑戦できたことはここで学んだことが経験となり大きな勇気になりました。青年経済人として叩き込まれた長州魂はこれからの人生にも影響していくことと思っております。出逢えた皆様、交わせた皆様、励ましてくださった皆様、ありがとうございました。

山形 紗璃



平成28年度 会長所信

下関商工会議所青年部 第37代会長就任にあたり、長い年月をかけ青年部の歴史と伝統を築いて頂きました諸先輩方に感謝すると共に、このような素晴らしい機会を頂きました会員の皆様に心より御礼申し上げます。

戦後70年が経過し、社会は加速度的に変化し続けています。その一つに、情報技術の発達によりスマートフォンをはじめ、インターネットなど世界的に情報化が進み個人のみならず企業に於いても、世界中の人々との情報交換が迅速にでき、様々な情報を容易に得ることができるようになりました。地域社会として、情報化の進歩はとても便利で必要不可欠なものとなっています。しかしその反面、人間社会としては人と人が関わり合うことが少なくなりコミュニケーション能力の低下を引き起こしているのが現状です。

商工会議所会員である我々は、常に企業の発展と豊かで住みよい郷土づくりに取り組み、青年経済人としての資質向上と会員相互の交流を図るために“人”との関わり無くしては成り立ちません。何事も“人”からはじまります。いつの時代も人は一人では生きていけません。人間関係はコミュニケーションの蓄積であり、その蓄積によって人間社会が築かれます。こんな時代だからこそ人と人との繋がりを今以上に大切にしなければならないと考えスローガンを「忠・恕・仁」としました。

人と人が関わり合う中で大事なことは何か…“忠”すなわち真心・誠実さを示すこと。“恕”すなわち人への思いやりを持つこと。“仁”すなわち人を愛すること。この3つの思いをしっかりと胸に抱き、そして行動する。そうすれば皆の心は動き、人と人の思いが連帯し、大きなエネルギーとなり我々の使命である商工会議所活動の一翼を担う活躍ができるものと信じています。

YEGの原点でもある、地域を愛し、日本を愛する。その気持ちをしっかりと次代へと繋いでいきます。そのためにも、YEGとしての誇りを持ち、輝かしい未来の創造に向かって積極果敢にチャレンジし、会員と共に「夢」を語らい、「夢」を描き、「夢」を実現していきます。

下関YEGはこれから40年、50年とさらなる飛躍に向け走り出します。



平成28年度 下関商工会議所青年部
第37代会長 田中 肅己

《第2回 苦和会》

11月29日(日)、山陽国際ゴルフ倶楽部にて平成27年度第2回苦和会が開催されました。参加者はOB会員9名、現役会員15名でした。天候は、スタート時点は曇りで肌寒い感じでしたが、プレー中は少し晴れ間も見えコンディションはまずまずでした。優勝は、OUT 46・IN 47・GR 93で佐藤大元会員が優勝でした。



同好会レポート

《第3回 苦和会》

2月28日(日)、厚狭ゴルフ倶楽部にて平成27年度第3回苦和会が開催されました。参加者はOB会員13名、現役会員15名でした。スタート時曇りで肌寒く感じましたが、プレー中は快晴で温かく絶好のコンディションでした。優勝は、OUT 46・IN 41・GR 87で殿井健治会員が優勝でした。



下関市社会福祉協議会へ寄付

平成27年度社会福祉事業の一環として、会員親睦ボウリング大会、ゴルフ同好会「苦和会」においてチャリティー募金を行いました。その際ご協力いただいた88,111円を3月25日(金)、喜志永会長、松永専務理事が下関YEGを代表して伺い、社会福祉法人下関市社会福祉協議会へ寄付しました。



編集後記

硯海の記事等にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。年度当初少ない委員会メンバーで通巻86号の硯海を編集したことは、大きな自信になりました。後期には頼もしいメンバーも加わり、今号はより一層充実した編集ができました。今年度の硯海を通じて下関YEGの軌跡を「つたえる」ことができれば委員会メンバー一同幸いです。

〈平成27年度 広報委員会〉

中尾(宏)・秋森・杉江・田中(卓)・福田(忠)・
星山・安井・山形(紗)・中川・藤原・和田



平成27年11月22日(日)、海峡メッセ下関にて、『創立35周年記念式典・大懇親会』を開きました。

下関商工会議所青年部は、下関商工会議所創立100周年の年にあたる昭和55年11月33名の会員で創立され、今年度で35周年を迎えることができました。今回は「大同窓会」をテーマに、OB会・関係諸団体・県内外の他単会商工会議所青年部に加えて、過去に下関商工会議所青年部に在籍経験のある方にもお越しいただきました。

記念式典では直近5年間の事業報告、歴代会長表彰を行いました。また大懇親会では、フィナーレで会員全員が壇上にあがり、「伸びゆく大地」を歌いました。下関商工会議所青年部の会員だけでなく、気がつけば会場の多くの方々が肩を組んで一緒に歌っていただき、歩んできた35年の歴史の重みと、新たに始まる未来へ向けて、力の沸く感動的なものとなりました。

下関商工会議所青年部の先輩方が築いた歴史を振り返ることができ、代々受け継がれてきた誇りと伝統の重みをしっかりと次の世代に伝えていき、次の40周年に向けてさらに一歩前進する、より強い組織になるための良い機会になったと思います。

これから40周年に向けてしっかり歩を進めていきたいと思います。



済州商工会議所青年部会との姉妹締結 15周年記念事業式典・懇親会

平成3年に始まった済州商工会議所青年部会との交流は、9年間の交流活動を経て平成12年11月11日、YEGとしては日本国内初の姉妹締結を行いました。そして、その後も相互訪問等の交流を重ね、今年は姉妹締結15周年の年でした。姉妹締結15周年記念事業として、平成27年11月21日(土)済州商工会議所青年部会の皆様にご来関いただき、両会より下関市立図書館へ本の寄贈を致しました。

そして、今後両青年部の未来に向けての共同事業につき活発に会議を行い、姉妹締結15周年を記念して式典を行いました。式典では両会長の挨拶後、15年の歩みを映像で振り返りました。その後、姉妹締結15周年共同宣言への署名、記念品交換、記念撮影を行いました。式典終了後、懇親会を開催しました。懇親会スタート当初は、通訳がいるものの言葉の壁もあり、各テーブルともなかなか会話が進みませんでした。しかし、お酒が進むとともに和やかな雰囲気となり最後には会話の声が聞こえないほどの盛況ぶりで大いに懇親を深めることができました。

翌日にも、済州商工会議所青年部会の方々と下関商工会議所青年部の会員は、一緒にフロイデ彦島の見学や元祖瓦そばたかせでの食事などを楽しみました。

